

ポイント1

視覚的でわかりやすい構成

生き生きと造形表現を楽しむ子どもの姿を多数掲載して、造形表現そのものの楽しさや魅力を伝えています。その上で理論と実践とが結びついて考えられるようにイラストや写真も有効に活用しながら、わかりやすく構成してあります。

生き生きと造形表現を楽しむ子どもの姿を多数掲載して造形表現の魅力を発信しています



子どもたちの目に触れられるようにして載せよう

活動の様子だけでなく、子どもたちが活動中に行っている様子も載せよう。活動の様子だけでなく、子どもたちが活動中に行っている様子も載せよう。

光や自然の題材も掲載

理論と実践が結びつくようにイラストや写真を使い、わかりやすく伝えています

Chapter 05 6 キミもアーティスト モダンテクニックを使って。 Includes icons for '題材の意義やねらいを明示' and '材料や道具等もイラストで表示'.

Chapter 05 6 キミもアーティスト モダンテクニックを使って。 Includes icons for '水彩絵の具一式' and 'スケッチブック'.

子どもの姿から実際の様子が伝わる

Chapter 05 6 キミもアーティスト モダンテクニックを使って。 Includes 'モダンテクニックの種類と説明' section.

子どもの活動にどのように繋がるかをイメージできる

Chapter 05 6 キミもアーティスト モダンテクニックを使って。 Includes 'ポイント' section.



乳児の造形も網羅

Chapter 05 26 見て・触って・感じる。 Includes 'ねらい' and 'ポイント' sections.

ポイント2

アクティブラーニングの促し

学生の主体的な学びを促せるよう、ワークシート形式を取っています。個人やグループで考えたり、話し合ったりする過程を書き込みながら記録し、テキスト自体がポートフォリオの役割を果たせるようにしています。

ワークシート形式で、学生の主体的な学びを促します

Chapter 02 3 子どもの絵の見方。 Includes 'ねらい' and 'ポイント' sections.

個人やグループで子どもの絵の見方について考える項目



Chapter 02 3 子どもの絵の見方。 Includes 'ねらい' and 'ポイント' sections.

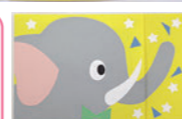
記入しながら考える

例：一人一人の子どもの絵のよさを保護者や周りの大人に伝えるにはどのような方法があるか、グループで話し合ってみましょう



考えたことやアイデアが残り、テキスト自体がポートフォリオ機能を果たします

記入のアイデアがこのような作品に(変身カード)



記入式なので、アイデアやプロセス等がテキストに残り見返せる

Chapter 05 2 目。 Includes 'ねらい' and 'ポイント' sections.



巻末の「切り取り式ワークシート」も使って考察や記録を促す

例：振り返りと考察 / 進捗計画と記録

ポイント3

平易な言葉で必要な知識や理論を解説

易しい言葉を用いながら文章を構成しています。そして、見出しやリード、写真やイラストを上手に活用して、難しく感じられる知識や理論、実践方法を体系立ててわかりやすく説明しています。

難しく感じられる知識や理論も平易な言葉を使いビジュアルを上手に活用して解説しています

Chapter 03 1 素材と出会う。 Includes 'ねらい' and 'ポイント' sections.

難しくない言葉で解説

Chapter 03 1 素材と出会う。 Includes 'ねらい' and 'ポイント' sections.

幼稚園教育要領や保育所保育指針にも準拠

リードと写真を追うだけでも重要な内容が伝わるように構成しています

リードを読むだけでも大事なポイントがわかる

例：素材の特性をよく知り、豊かな援助に繋げよう

Chapter 03 1 素材と出会う。 Includes 'ねらい' and 'ポイント' sections.

子どもが興味を持った素材を触ると、一人の保育者でめぐるだけでは気づきにくい。保育者の役割は、子どもが興味を持った素材を触ると、一人の保育者でめぐるだけでは気づきにくい。